

# 環境工学研究フォーラム講演集用 原稿作成例

環境 太郎<sup>1\*</sup>・土木 次郎<sup>1</sup>・四谷 花子<sup>2</sup>・John SMITH<sup>3</sup>

<sup>1</sup>環境大学工学部社会環境工学科 (〒100-0014東京都千代田区永田町1)

<sup>2</sup>環境フォーラム株式会社 技術開発部 (〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地)

<sup>3</sup>JSCE Corp. (〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1)

\* E-mail: t-kan@env.kankyo-u.ac.jp

## 1. タイトルページ

タイトルページは2つの部分で構成されます。

(a) タイトル部分：横1段組（題目，著者（corresponding authorに必ず\*を付す），所属（数字で対応付け），連絡先住所，corresponding author のE-mailアドレス）で構成。

(b) 本文部分：横2段組。

### (1) タイトル部分のレイアウトとフォント

全てのページのマージンはこのサンプルにありますように上辺19 mm，下辺24 mm，左右ともに20 mmに設定してください。タイトル部分の左右のマージンは、本文の左右のマージンよりもそれぞれ10 mm ずつ大きくとってください。すなわち、A4用紙の幅に対して左右それぞれ30 mm ずつのマージンをとります。そして以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

（約10mmのスペース）

タイトル：ゴシック体 20 pt フォント，センタリング（注：センタリングしたときに、表題の第一行目の左側に20pt文字で4字以上のスペースを必ず確保すること）

（約15 mmのスペース）

著者名：明朝体 12 pt フォント，センタリング（講演者名の頭に 印をつけること）

（約5 mmのスペース）

著者所属：明朝体 9 pt フォント，センタリング  
E-mailアドレス：Times 9 pt フォント，センタリング

（3行程度のスペース）

著者と所属とは肩付き数字で対応づけ，上記のように並べて下さい。

### (2) 本文部分のレイアウトとフォント

タイトル部分との間に3行程度のスペースを空けてく

ださい。本文は2段組で，左右のマージンは 20 mm ずつ，段と段との間のスペースは約6mmとします。

本文は，明朝体 10 pt フォントを用い、1段の文字数は25字で1ページ当たり48行を基本とします。

## 2. 一般ページ

### (1) レイアウト

第2ページ以降は，タイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントの大きさで本文を作成します。下記のような見出しのつけ方や図表の配置方法を含めたその他の体裁は、基本的に環境工学研究論文集用和文原稿作成例に準じますので、ご参照ください。

### (2) 見出し

見出しのレベルは章，節，項の3段階までとします。章の見出しはゴシック体とし，2. などの数字に続けて書きます。また，見出しの上下にスペースを空けます。このファイルのサンプルから分かるように，上を2行，下を1行程度空けて下さい。ただしページや段が切り替わる部分は章の見出しが最上部に来よう調整してください。節の見出しもゴシック体で，(4) などの括弧付き数字を付けます。見出しの上だけに1行程度のスペースを空けて下さい。項の見出しは，a)のような括弧付きアルファベットを付け，上下のスペースを空けません。

### (2) 図表

図表は原稿末尾にまとめて配置しない。また，横幅は「2段ぶち抜き」あるいは「1段の幅いっぱい」のいずれかとします。図表の幅を1段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置することはやめて下さい。なお，図表中の文字は，縮小後も十分判別できる大きさにすること。

